

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

6月議会

戦争させない。 敵基地攻撃 核共有やめて 憲法9条守り生かす政治を

平和と原発ゼロの声松江から たちばなふみ市議 一般質問①

たちばなふみ市議は、6月議会において日本共産党松江市議団を代表して一般質問にたち、以下の5項目について市長の政治姿勢を質しました。

- ①戦争を起させないために憲法9条を守り生かす政治、
- ②物価高騰から市民の暮らしと営業を守る施策、
- ③子どもによりそう子育て世帯の支援
- ④男女の賃金格差是正、
- ⑤危険性が増す原子力発電について。

日本にとって現実の危険は

ウクライナ侵略が始まって4カ月近くたったが、この危機に乗じて、日本が攻められたらどうすると「敵基地攻撃能力」を持つだとか「軍事費を2倍化」「アメリカと核兵器を共有すべき」「憲法9条かえよ」などの議論が自民党などから出されている。しかし、現実の危険は、「米国が軍事行動を始めた場合に、安保法



本会議場で質問するたちばなふみ市議

制、集団的自衛権を發動して、自衛隊が米軍と一緒に攻め込み、その結果日本が反撃されることになる」これが、日本が直面している最大の現実の危険だと指摘しました。

アメリカと核共有

また、核兵器禁止条約の第1回締約国会議がひらかれている最中であると紹介し、「核抑止」「核共有」は、いざとなったら核を使うということ、唯一の戦争被爆国として「核兵器の共有」や核兵器による「抑止」は絶対に認められないと主張し以下の点を

市長の政治姿勢を問う

(1) 軍事費増強や核の共有でなく、市民のために9条をまもりぬくことを表明し、国に対してこれ以上の軍拡をやめよと声を上げるべき。

(2) 戦争を終わらせるためにいま大事なことは、「ロシアは侵略をやめろ」、「国連憲章を守れ」という国際世論を喚起すること、憲法9条の立場で日本がその先頭にたつことを国に対して求めるべき。

(3) 松江市は平成18年にした地球環境保全と平和都市宣言を行っている。平和首長会議にも加盟する松江市の市長として核兵器禁止条約への参加を決断するよう国に強く求めるべきである。

加齢性難聴者への支援について 舟木けんじ市議 一般質問①



議場で質問する舟木けんじ市議

舟木けんじ市議は6月議会一般質問で、昨年9月議会

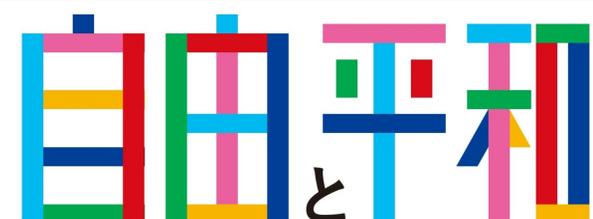
会に続き加齢性難聴者支援についてとりあげました。

「現在、難聴の高齢者は1430万人。介護予防の観点から加齢性難聴者への支援の必要性について見解はどうか」「昨年9月議会ですら『通いの場』に言語聴覚士などを派遣して難聴相談へ対応しているとの答弁だった。昨年度何件、どのような相談が寄せられたか。また、難聴高齢者の実態把握

はされているか」「第9期介護保険事業計画策定のための生活実態調査に『聞こえ』の設問を設けることを検討いただけませんか」「今年度から益田市でも高齢者補聴器購入費助成事業が始まった。市として補聴器購入の助成制度を創設される考えはないか」と質しました。

松原正健康福祉部長は「聴力機能の低下を原因とする社会参加の減退が高齢者フレイルにつながり、介護状態の進行に影響を及ぼすと言われている」「『通いの場』への言語聴覚士の

派遣は昨年度1件。難聴に関する派遣依頼はなかった。難聴高齢者に特化した実態把握は行っていない」「第9期介護保険事業策定のため『介護予防・日常生活圏域ニーズ調査』では、国が示す項目のほか、各市町村独自の項目を設定できる」「国の説明会をふまえて本市の独自項目について検討したい」「障がいの基準に達していない加齢性難聴の方への支援については、国の研究結果を踏まえて他市の事例も参考に検討することとしている」と答弁しました。



値段を気にせずパンや野菜を買いたい。まっとうな職場でやりがいのある仕事をしたい。お金の心配なく進学したい。性別にとらわれず好きな人と結婚したい。戦争しない国であってほしい。自分らしく生きたい。一人ひとりの人生は、かけがえないものだ。だからこそ、あなたの未来は選べる。人生を、私の人生を、大切にできる社会を。

上定昭仁市長は、「(1) 憲法9条については、我が国の自由で平和な社会が守られることを大前提として、各政党間で議論していただきたい、(2) 市長としては声明を発表した。政府はウクライナ国民が平和で安全な生活を取り戻せるよう全力を尽くすことが必要と考える。(3) 岸田首相はアメリカとの信頼関係の下、核不拡散の取組から始めるべきと発言、政府には引き続き核兵器廃絶に向け適切に対応していただきたい」と答弁しました。

たちばな市議は「日本は広島、長崎の原爆核兵器の被曝、そして福島での原子力発電による被ばくを経験。日本が核兵器廃絶、そして平和な世界へのリーダーシップをとらなくてはならない。松江市民の平和と安全のためには、この松江から、市長が、核兵器廃絶と原発ゼロを発信すべきだ」と改めて訴えました。